

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原 3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com

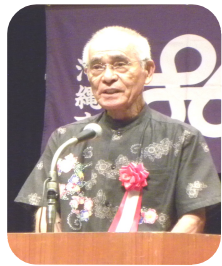
6月末現在の会員数608人

(男性358人・女性250人)



平成29年度定時総会開催 事業・決算報告承認

公益社団法人沖縄市シルバー人材センターの平成29年度定時総会が6月14日、沖縄市民会館中ホールで開催され、28年度の事業・収支決算報告及び監査報告、定款の一部変更等が審議され、それぞれ承認された。



大 灣 政 松
沖縄県シルバー
人材センター
連合会長



普久原朝健
沖縄市議会
議長



桑江朝千夫
沖縄市
市長



桑江良哲
理事長



議長

総会は、午後1時30分に開会。

この日は、会員総数603人中、412人（出席者200人、委任状212人）の会員が出席し、上江洲勝会員の司会により進行。最初に桑江良哲理事長が挨拶（2面に全文）。続いて桑江朝千夫沖縄市長、普久原朝健沖縄市議会議長、大湾政松県シルバー人材センター連合会長が祝辞を述べた。議長には、又吉綱一理事を選出、四つの議案と一報告が審議され、全て承認された。

議事

議案第1号 平成28年度事業報告について

議案第2号 平成28年度収支決算報告及び

監査報告

議案第3号 定款の一部変更

議案第4号 理事長に対する権限委任

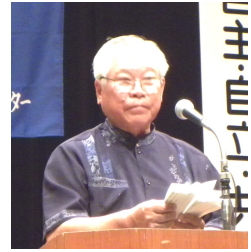
報告

報告第1号 平成29年度事業計画及び

収支予算について

総会後の交流会は、新垣秀子さん、石川静子さんの舞「かぎやで風」で幕開け、「こゑん節」「揚作田節」と続き、懇親の場を盛り上げた。上原秀雄理事の乾杯後の余興では、仲宗根初月子さんの舞踊、弁当乙女達によるダンス、徳盛猛さん、上地安辰さん、仲井間宗栄さんが民謡を披露。最後は「カチャーシー」で楽しいひと時で幕を閉じた。

定時総会理事長あいさつ (全文)



本日ここに、公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター平成二十九年 度 定時総会を開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、お忙しい中このように多数の方がお集まり頂きまして、ありがとうございます。

また、本日の総会にご案内申し上げますところ、公務

ご多忙の中、沖縄市長 桑江朝千夫様、沖縄市

議会議長 普久原朝健様、沖縄県シルバー人材センター連合会長 大湾政松様をはじめ県内各拠点センター役員の皆様・ご来賓多数ご臨席を賜り、ありがとうございます。

さて、当センターの平成二十八年度の事業実績におきまして、派遣事業・受託件数は前年度を上回っておりますが、会員数・契約金額・就業延人数・就業率ともに減少しております。

当センター事業の重要課題であります「会員拡大」「就業機会の拡大」に取り組むため、専門委員会の見直しを行い、推進して参りましたが、未達成の結果となりました。

しかし、厳しい社会情勢の中このよう

会員の働く喜びと地域社会参加を促進

な実績を上げることができましたことは、桑江沖縄市長をはじめ、市議会、関係機関・関係団体各位の多大なご支援並びに会員皆様のお一人おひとりが、自己の責任において、安全・適正就業、ボランティア活動など地域に貢献するシルバー会員のご協力によるものとし心より厚く感謝申し上げます。

さて、わが国の経済は、緩やかな景気回復基調が続いているものの、世界に類のない少子高齢化が進展し、特に高齢化の進展は顕著であります。65歳以上の人口が、15歳未満人口を初めて上回り生産年齢とよばれる15歳から64歳人口は逆に減少に転じており

ます。このような中、労働力人口が大幅に減少することが懸念され、高齢者の「居場所」と「出番」を作り、「生涯現役社会」の実現が求められており、その受け皿として機能するシルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要になっていくところであります。

また、会員が就業することにより、生きがいに加え、地域社会の活性化、加えて社会参加を促進することにより、健康維持増進・介護予防につながり、はつらつと元気あふれる高齢者を増やし、結果として医療費および介護費の削減につながるものと確信しております。

当センターにおきましては、平成二十七年

度の介護保険制度改正により、市町村へ移行となった「介護予防・日常生活支援総合事業」について、今年の一月に行政より事業所指定を受け、事業を開始しております。

平成二十九年のスタートにあたり、当センターがますます充実・発展していくために、変化する社会情勢に対応し、労働者派遣事業に積極的に取り組み、多様な「就業機会の提供」の推進を図るとともに、「会員の拡大」「安全・適正就業の推進」「運営基盤の強化」を図り、目標達成にむけて、センターの基本理念であります「自主・自立、共働・共助」の精神を貫き、尚一層、市民及び地域から信頼され・愛されるために会員・役員・職員が一丸となって、誠実と責任を持って職務に取り組んで参ります。

本日は、平成二十八年度事業報告・収支決算報告・定款の一部変更等の四議案を予定しておりますが、総会の議決をもとに活動を行ってまいります。この総会が、会員の皆様のご協力により、スムーズに進行されますようお願い申し上げます。

結びに、これまでご指導・ご支援いただきました沖縄市当局・市議会・県シルバー人材センター連合、そして各関係機関・市民の皆様にあらためて厚く御礼申し上げます。本日で出席をいただきました皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

事故ゼロを目指そう！ 連合と合同安全パトロール実施

「事故ゼロを目指そう」と今年度2回目の連合との合同パトロールが5月22日、海中道路跡都市緑地（写真左）とマンタ公園（写真下）で行われた。連合の前里耕一安全・適正就業パトロール指導員は、「作業前のミーティングは大変重要。今日の作業と、現場状況を把握し危険箇所を全員でしっかり共有して頂きたい。また、万一来る緊急用具の点検も怠りなく」と話していた。



上江洲勝安全推進員は「刈払機による事故ゼロはぜひ達成したい。併せて昨年度の傷害事故3件は全て転倒事故で通院、手術入院の治療を受けている。これから暑さが厳しくなります。熱中症にならないよう日頃の体調管理には十分留意して頂きたい」と健康面を強調していた。

今年度第2回安全・適正就業委員会が6月13日、シルバーワークプラザ研修室で開催された。事故防止対策に、各委員が「もっと現場を知ろう」と積極的に現場に足を運び、適切な指導を行っていかうと話し合った。

安全・適正就業委員会



委員会出席の上江洲勝推進員、儀間泰夫委員、島袋哲行委員長、玉城テル子委員、古謝博子委員（写真右から）

委員が安全確認指導 「倉浜衛生施設組合」現場

会議終了後、「倉浜衛生施設組合」の現場を視察。小橋川洋一リーダーから作業内容や一週間のローテーションの説明が行われた。また、委員からの安全面での質問に適切に答えていた。島袋委員長は、安全、健康管理等について会員への細かい指導を要請。





今年度も児童の安全を守ります！ 下校時安全パトロール県警職員と合同で実施

地区活動

美東・東中校地区



美東・東中校地区（桑江良次地区長）は5月24日、県警職員と合同で美東小学校の下校時安全パトロールを実施した。沖縄警察署防犯アドバイザー支援要員の比嘉祥貴さん、宮良正寿さんの二人が7人の会員と一緒に地区内のパトロールを行った。山城勝美美東小学校校長は「シルバーの方々には子どもたちを見守ってくれて本当にありがたい。子どもたちも素直に喜んでくれています。」また、地域コーディネーターの小渡ひろみさんも「声かけ被害者は絶対出したくない。一緒に子どもたちを守っていききたい」と話していた。

（写真前列右から）村田正義さん、金城京子さん、桑江良次地区長、垣花常次さん、山城勝美美東小学校校長、（後列右から）宮良正寿さん、古謝博子さん、仲眞節子さん、喜屋武盛正さん、比嘉祥貴さん、小渡ひろみ地域コーディネーター



南部めぐりピクニック楽しむ！

コザ中校地区



コザ中校地区（上里謙信地区長）は5月29日、南部「奥武島（おうじま）」へのピクニックを楽しんだ。美東・東中校地区、越来・宮里中校地区からの6人を含め32人が参加、梅雨の晴れ間に行われた豊漁を祈願する祭り「四日の日ハリー船の競漕」を堪能した。

楽しい食事会の後は、糸満街道から「うまんちゅ市場」と魚市場を見学、楽しいピクニックの一日を過ごした参加者。

就業拡大委員会

平成29年度第3回「就業拡大委員会」(徳永軍一委員長)が6月21日、シルバーワークプラザ執務室で開催された。

冒頭、徳永委員長より「小学校内外でのいじめ事故が増えており、昨年度沖縄県内でも356件認知されている。防止策は考えられないか」との提言がなされた。

これに対し各委員から、SCが手伝えられるのは、校外で児童を見守ることが適切とし、現在地区会員が行っている「下校時安全パトロール」を更に充実させる方策を考えていくことで意見が一致した。



委員会出席の東條正躬委員、兼久久枝委員、仲宗根正史担当職員、徳永軍一委員長、塩川初江委員 (写真右から)

ボウリング大会 で健康増進!



ピクニック で楽しい1日を!

「事故防止
急ぐな あせるな 気を抜くな」
全国統一スローガン」

- ・日時 8月6日(日)
午前9時
- ・場所 コザボウリング
- ・会費 2000円

安慶田中校地



- ・集合 シルバーセンター駐車場
- ・会費 2000円
- ・日時 8月5日(土)
午前9時出発
- ・北部視察研修

美里中校地区

- ・集合 シルバーセンター駐車場
- ・会費 2000円
- ・日時 7月22日(土)
午前9時出発
- ・南部視察研修

越来・宮里中校地区

新入会員紹介

6月22日付で13人(女性5人・男性8人)が新会員として入会しました。地区の皆さんよろしく。

- | | |
|--------|-------------|
| 知念 節子 | (美里中校地区) |
| 仲宗根 節子 | (美里中校地区) |
| 吉村 金男 | (美里中校地区) |
| 金城 正俊 | (美里中校地区) |
| 知名 朝和 | (美里中校地区) |
| 岸本 圭子 | (山内中校地区) |
| 上原 千佳 | (山内中校地区) |
| 寺光 幸子 | (コザ中校地区) |
| 伊野波 盛明 | (安慶田中校地区) |
| 古堅 宗行 | (安慶田中校地区) |
| 内間 英子 | (美東・東中校地区) |
| 島村 勝彦 | (越来・宮里中校地区) |
| 大城 啓 | (越来・宮里中校地区) |

就業相談日のお知らせ

毎週月・水曜日
午前10時～午後4時
シルバーワークプラザ会員研修室
お気軽にご相談ください。



連合との合同パトロールで転倒事故等の事例を挙げて、事故の恐ろしさを訴え、「事故ゼロ」を達成しよう」と公園で就業する会員に呼び掛けた。

7月は「安全・適正就業推進強化月間」

安全・適正就業推進大会

日時 平成29年7月5日(水)

午後1時30分～4時

場所 沖縄市農民研修センター

全員で盛り上げよう

7月1日～31日は、シルバー人材センターの「安全・適正就業推進強化月間」となっています。28年度は5件の事故(物損2件、傷害3件)が発生しました。この強化月間を機に事故撲滅を目指しましょう。

29年度「安全・適正就業推進強化月間」実施要綱

目的

平成28年度、受託事業においては5件の事故(物損2件、傷害3件)が発生しているが、前年度に比べると3件の減少となっているが、昨年度は派遣事業においても6件の事故が発生しており、総合計では11件の事故発生となっている。

事故の発生は、一歩間違えたと大きな障害や賠償事故につながる恐れもあるため、会員及び役職員が一体となり事故防止対策に取り組まなければならない。

センター事業を推進する上で、会員の健康と安全で適正な就業の確保が基本である。

よって、「安全・適正就業推進強化月間」においては、安全・適正就業の徹底強化を図り、事故のない安全な就業環境づくりを推進すべく下記のとおり取り組む。

1、「安全・適正就業推進強化月間」

(1) 期間 平成29年7月1日(土)～31日(月)

(2) 取組内容

① 「安全・適正就業推進大会」の開催

・ 日時 平成29年7月5日(水)
午後1時30分

・ 場所 沖縄市農民研修センター

・ 横断幕やのぼり等の掲揚

③ 県シルバー連合主催の「安全大会」等への参加

④ その他、安全講習会等の開催

2、安全スローガン

(1) 沖縄市SCスローガン

『ひやりとしたあの体験を今活かせ』

(2) 全国統一スローガン

『事故防止 急ぐな あせるな 気を抜くな』

3、安全・適正就業への取組み

安全・適正就業の取組みについては、「安全掲示板」、「ホームページ」、「ニュース ゆんたく」を活用して情報の適用を行う。安全就業については、最近増加傾向にある転倒による傷害事故について会員自身の意識高揚を図るための取組みを行う。

(1) 安全就業

ア 就業前ミーティングを徹底し、会員の健康状態を把握

イ 就業現場の「安全巡回パトロール」の実施強化

ウ 安全衛生教育及び各種講習会の充実・強化

エ 刈払機、機械器具及び安全保護具等の点検整備の実施強化

オ 「安全就業ハンドブック」「安全適正就業マニュアル」等の配布及び活用

(2) 適正就業

ア 「適正就業ガイドライン」を活用した、適正な就業の徹底

イ 臨時的・短期的その他の軽易な業務の徹底

ウ 「受注票」、「契約書」、「請書」等における不適正な記載の確認及び就業実態の自主点検の実施

間違いだらけの分煙

- ・ドアを閉めても換気しても、タバコの煙は喫煙場所から拡散する。
- ・分離または換気した喫煙場所を作っても、非喫煙者は保護されない。
- ・受動喫煙に安全量はなく、タバコ煙は薄まっても危険。
- ◎100%完全禁煙の環境だけが、受動喫煙の防止に有効である。

肺がんの主な症状

- ・咳
- ・呼吸困難
- ・痰
- ・血の混じった痰
- ・体重減少
- ・胸の痛み
- ・息切れ
- ・胸苦しさ

日本人が生涯のうちに肺がんになる確率

男性・・・7.4%
(13.5人に1人)
女性・・・3.1%
(32.2人に1人)
◎喫煙者は非喫煙者に比べ
男性・・・4.4倍
女性・・・2.8倍
肺がんになりやすい。



徳昭宏 河本
胸部病
院会
医長
外科
部長

日本における死因のトップががんという情報は、今や常識。そのがんの中で最も死亡率が高いのが「肺がん」。近年、患者さんの数が増加しています。2人に1人が一生のうち一度はがんにかかり、3人に1人ががんによって亡くなっています。なかでも肺がんは最も患者さんの数が多く、2010年には約7万人が肺がんによって亡くなっている。

健康講話

日本における死因のトップは肺がん

肺がんの臨床病期別5年生存率 5年生存率≒治る割合

臨床病期	I	II	III	IV
生存率	76.5%	45.3%	18.4%	3.1%

自覚症状

肺がんの初期段階での自覚症状は殆ど気がつかないことが多い。肺がんを早期に見つけるには、レントゲンだけでは不十分です。CT検査もお勧めします。

わたしからのメッセージ

- ① 肺がん検診を受けて
早期発見・早期治療を!
- ② 喫煙者・非喫煙者問わず
肺がん検診は受けましょう!
(特に40歳以上の喫煙者)
- ③ 禁煙は何歳になっても
遅くありません!

就業日報を提出しよう

就業日報は、作業が終わり次第、事務局に提出願います。
月末まで作業した人は、翌月の1日には提出するようにして下さい。
会員番号の誤記入が無いように、もう一度確認願います。

「技術・技能及び安全面の向上を目指す」

「刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育」のお知らせ

- ・開催日 平成29年7月26日(水)
午前9時～午後4時
- ・場所 シルバーワークショッププラザ会議室
- ・参加希望者は7月24日(月)までに事務局へお申し込みください。
- ・参加人数によっては翌月に繰越しとなる場合があります。予めご了承ください。

無事故記録

平成29年4月18日
～29年6月27日現在

71日

仲間を募集しています！



60才からの「もっと」を

大応援する。

公益社団法人
沖縄市シルバー人材センター

約700名の会員が、就業や社会奉仕活動でがんばっています。

ひゃみかち!!

●お問い合わせください。

電話 (098) 929-1361

7月の予定

- 10日(月) 午前10時
新会員入会説明会
- 21日(金) 午前10時
理事会
- 26日(水) 午前9時〜
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育

編集後記

梅雨が明け、強い陽射しが全身に注ぐ。高齢者にとって急激な気温の変化は体温調節にも悪影響を及ぼす。十分な睡眠とバランスの取れた栄養摂取は不可欠。

7月は「安全・適正就業推進強化月間」。私たち一人ひとりが出来ることは、事故ゼロを常に忘れずに意識すること、そして徹底した健康管理。長く暑い夏を乗り切る為に、体内の血液を増やし体温の上昇を抑えてくれる牛乳が効果的という。徳洲会病院の健康講話で聞いた。

編集
上原 秀雄
東條 正躬
田中 穰